

中央公民館だより

そうぞうながと



発行 | 長門市中央公民館運営協議会 広報担当
TEL | 0837-23-1181 FAX | 0837-22-3648
E-mail | chuo.kominkan@city.nagato.lg.jp

中央公民館広報紙
No.180

ふるさと長門の 夏を満喫！



わくわく土曜塾 親子でシーカヤック
(油谷青少年自然の家)



ふるさと長門の魅力を語れる
「ながと通(つう)の大人」に
成長してほしいですね！

伝えたい「ふるさと深川」シリーズ 136

深川小学校の歴史 その五 〝新しい時代へ〟

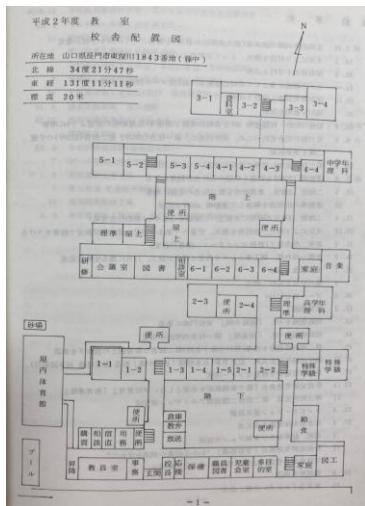
昭和三十四年に全教室が鉄筋コンクリートの校舎に代わりました。当時、長門市で初めての近代的な校舎でした。昭和三十六年には境川分校は廃校となり、分校の児童はバスで本校へ通うことになりました。旧校舎は境川地域の集会所として現在も利用されています。

昭和四十七年十月二十五日、開校百周年記念式典が行われ、『深川小学校百年史』が編纂されました。

五〇年以上、多くの深川つ子が続いた校舎は、平成二十四年に新校舎になりました。そして、新しい校舎と共に深川小学校の歴史は、今年十月に百五十周年の節目を迎えます。



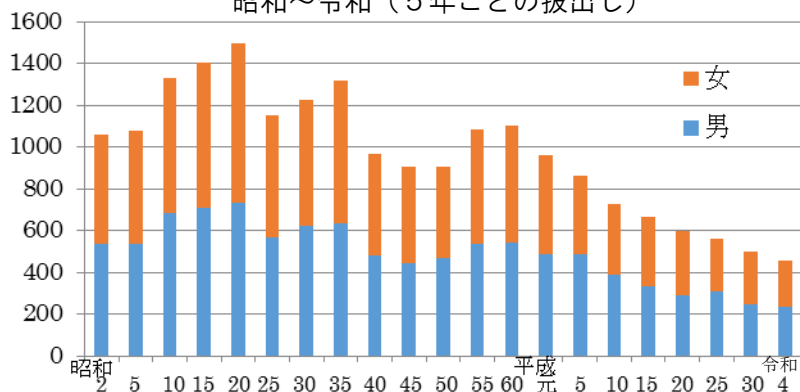
校舎配置図



最後に、旧校舎の教室・校舎配置図と昭和から令和にかけての児童数の移り変わりを載せて終わりたいと思います。一日一日が積み重なって百五十年。深川小学校の未来に幸あれ！

次回からは、九月一日にリニューアルオープンする「長門市総合文化財センター」の見どころをお伝えしたいと思います。お楽しみに。

深川小学校児童数の移り変わり
昭和～令和（5年ごとの抜出し）



わが家の宝子



ひろ た あん 廣田 杏さん(3歳)

公園や砂場遊びが大好き、元気な女の子です。お姉ちゃんと毎日仲良くケンカしながら遊んでいます。

今月のうた

山茶花クラブ

長門短歌会

卯の花を誉めて荷を解く薬売り
主なき古民家の庭蛭舞ふ
走り梅雨傘持たぬ子の背を濡らす
人参木見事技ありすみれ色
異常気象しらぬふりして
技持ちて心磨いてプロになる
若き獣医に尊敬の意を
警策のような板持つ強面は
実はやさしい技術の先生

山田 耕司
吉村 佳子
藤井紀代子
佐貫 勝代
小林美由紀
原田 満江

深川地区の人口

世帯数	5,983	(-16)
男性	5,713	(-15)
女性	6,625	(-20)
計	12,338	(-35)
(R4年7月1日現在)		

中央公民館8月の行事予定



6(土)	子どもクラブ
6(土)	キッズエクササイズ(3B 体操)
8(月)・9(火)	夏休みおたすけ講座
10(水)・24(水)	親子でリズムック
17(水)	ジュニア科学教室
27(土)	わくわく土曜塾
28(日)	親子でプログラミング

編集後記

▼夏本番を迎え、子どもたちは楽しい夏休みに入りました。▼ところが、新型コロナ感染拡大の報道がこのところ頻繁に流れるようになり、何やらまた怪しい雲行きです。いつまで続くのやら…。▼「必要な感染対策」を講じながら少しでも歩みを止めず前に進みたいものです。

熱き戦いの結果 深川スポーツ振興会

6月26日(日)、長門農業者トレーニングセンターにて深川スポーツ振興会主催「第4回パター・de・ビンゴ大会」が開催され、深川地区から12チームの参加がありました。

パター・de・ビンゴとは長門市スポーツ推進委員が考案したグラウンド・ゴルフとビンゴを合わせたゲームです。専用マットの端から10m先の数字のマスに向かってボールを打ち、ボールの止まった数字が得点となります。その際、ビンゴになっていたら得点が2倍、3倍となります。

小学生から年配の方々まで各チーム、自分の打ったボールに一喜一憂しながら盛り上がりつつありました。1位チームと最下位チームの得点が200点以上の差がつくという結果となり、参加者からは、「打ったボールが他のボールに当たったりして最後まで得点が分からないところがおもしろかった。」「初めて参加したが、ルールも簡単で楽しかった。」と
終始楽しそうな様子でした。



高得点で1位となった
二和会チーム▼



7月9日(土)、湯本観光ホテル西京ボウリング場にて、深川スポーツ振興会主催「第4回ボウリング大会」が開催され、深川地区から12チームの参加がありました。

コロナ禍で3年ぶりの開催に、参加者からは

「久しぶりに地区の皆さんと親睦が図れて楽しかった。」
という声が聞かれました。



1位の Taya2チーム

備えあれば憂いなし！

第2回 深川友愛学級

6月28日(火)、深川友愛学級「学ぼう会」が開催され、明治安田生命の清水英子さんを講師に「備えて安心！災害後も自宅で過ごす『在宅避難』のススメ」と題した講義がありました。

避難所へ移動中に被災するリスクやコロナ禍における避難所の人数制限があるため、日ごろから親戚や知人宅への避難の検討に加えて「在宅避難」の準備もしておくことが大切と学びました。また在宅避難に役立つグッズを日ごろから備えておくことも必要とのことでした。



青少年育成市民会議深川支部

令和4年度ブロック会議報告

6月8日(水)～17日(金)にかけて、深川支部ブロック会議を行いました。深川・向陽地区の自治会を8ブロックに分けて、各地区の地区育成委員、民生児童委員、小中学校PTA評議員、そして深川・向陽地区の学校や交番からも出席され、子どもたちの様子や、登下校時の危険箇所等を話し合いました。

登下校時に子どもが怪我をした事例や、道幅が狭い通学路について、また、下校後に子どもが遊ぶ際に危険を感じた箇所等の話が出ました。会議で挙げた危険箇所については、検討した上で市役所に改善の要望書を出す予定です。

ブロック会議で挙げた意見の一部

湊のコスモス前の横断歩道は
車が止まらず危ない



長門高校横の変電所の歩道が、
傘を差すと特に狭い



夏に躍動！

わくわく土曜塾

「タグラグビー」

「シーカヤック体験」



6月25日(土)、深川小学校体育館で、長門市ラグビーフットボール協会の皆さんを講師に「タグラグビー」を行いました。タックルの代わりに腰に付けたタグを取るため、子どもでも怪我の心配が少なく行えるラグビーです。1～3年生と4～6年生に分かれてそれぞれチームを作り、丁寧な指導の後、試合形式で実践しました。試合に負けて悔しくて泣き出した子を、チームメイトの子が励ます様子が見られました。子どもたちは沢山汗をかくて楽しんでいました。

7月9日(土)は、油谷青少年自然の家にて、「親子でシーカヤック」を行いました。毎年恒例で子どもたちに人気の活動です。施設の職員の方からパドルの使い方、シーカヤックの乗り込み方を教わった後、家族ごとにシーカヤックに乗りました。近くの小島の周りを漕いだり、洞窟に入ったりと思いいいに楽しみました。シーカヤックに乗らない時間は海遊びをして、思い切り海に飛び込んだり、磯で小さな魚を探したりと、海を満喫しました。



地域協育ネット

活動の様子

深川小・中学校で計11回、地域の方々の力をお借りして授業の充実を図りました。

深川中学校では、今年度新たに、長門市しごとセンター(NPO法人つなぐ)の事業を活用し、2年生100名と全国の中・高生約80名が一人1台タブレットで同時接続し、チャットで感想を共有しながら「海洋保全」をテーマにトークセッションに挑戦しました。



端末を利用してトークセッションに参加【深川中】



日本文化クラブ「箏」【深川小】



6年生家庭科の授業【深川小】



ニュースポーツ「ラダーゲッター」体験【深川小】

